



みかんぐみだより



尚徳福祉会 おぐら保育園

2022年11月発行

様々な色の落ち葉が舞い落ちて、秋の深まる頃となりました。子どもたちは葉っぱを嬉しそうに拾い集めては、お友達と見せ合いっこをしたり、ちぎったり…それぞれの遊びを楽しんでいます。気温差があって衣服の調節が難しい季節ですが、厚着になりすぎないように気をつけながら、体をたくさん動かして元気に過ごしていきたいと思います。



★芸術の秋★

10月制作のミノムシ作りでは、初めて“のり”を使った制作に挑戦しました。どの子ものりを不思議そうに眺めて興味津々。指につけてじっと見つめたり、感触を楽しむように指でくるくると塗り広げたりしていました。折り紙も自分で破り、指先を使った制作にじっくりと集中して取り組む姿が印象的でした。

完成したミノムシをお部屋に飾ると、自分の顔を見つけ「いた！」と喜んだり、お友達のミノムシを指さして「〇〇ちゃん、こっちは〇〇くん」と名前をたくさん呼び合ったりする姿はとっても微笑ましかったです。

★自分でできた！★

衣服や靴の着脱の際に保育者が手を差し伸べようとすると“じぶんで”と身の周りのことをしようとする姿が多くなってきました。靴が脱げた！靴下も脱げた！ズボンも脱げた！と自分で出来た時には嬉しそうな表情を見せてくれています。一人一人の姿に合わせて保育者が側で見守ったり、やり方を知らせたりしています。難しい所や思うようにいなくて困っている時には、さりげなく手助けをして“できた！”という満足感を感じられるようにしています。これからも自分でやってみようという意欲を大切に関わっていききたいと思います。

★歩くの楽しいね★

最近お友達と手を繋いで歩く機会を多く作っています。廊下を歩く時や園庭へ出た時など、遊びに夢中の子も「お友達と手をつないで歩こうか」というと嬉しそうに集まっています。先日、5人ぐらいのグループに分かれて、順番に園周りを歩きました。短い距離でしたが、お友達や保育者と手を繋ぎ「はっは」「カラスいるよ」「(園庭にいるお友達にむかって)おーい！」など目に映る様々な事を口々に話したり、反応したりしながら楽しそうに歩いていました。少しずつ距離を伸ばしていけたらと思います。

おねがい

- 靴や靴下、上着や服にはわかりやすいところに記名をお願い致します。消えているものもみられますので確認をお願いいたします。
- 服や靴のサイズは定期的に確認していただき、子ども達が自分で着脱しやすいか見ていただくと子どもたちのやる気もより一段と増すかと思っておりますのでよろしくお願い致します。

